

歯科口腔外科

《概要》

当科は口腔外科一般全てのことを行っているが、特に専門分野の頭頸部悪性腫瘍に力を入れている。そのほか口腔顎顔面領域の腫瘍、顎顔面形成外科(唇顎口蓋裂、顎変形症)、粘膜疾患(口内炎や舌痛症)に多くの実績があり、炎症、顎顔面外傷、神経疾患(三叉神経痛、非定型顔面痛)、顎関節疾患、歯科インプラント、インプラントのための造骨手術、および重篤な合併症を有し一般歯科では治療困難な有病者の歯科治療、入院中の患者の歯科的対応・応急処置を扱っている。また隣接する府立泉州救命救急センターからの顎顔面外傷・歯科疾患の処置依頼やコンサルトにも多く対応している。

初診構成は、地域の歯科・医科の医療機関からの紹介を中心とし、大阪大学(吹田市)からの南大阪・和歌山地域の患者紹介や、インターネットや書籍を参考に当科を求めて大阪府下はもちろん、府外遠方からの紹介など、院外からの紹介患者が約6割を占め、他は院内紹介・紹介のない患者で構成されている。

手術は患者の生活リズムをできるだけ崩さないよう、クリーンルームを使う必要のある症例でも、日帰りの外来手術を有効に利用している。一般に長期入院になりがちな再建の必要な悪性腫瘍でも、当科では2週間で退院できるクリニカルパスに従い、通常2~3週間の入院で、早期の社会復帰を可能にしている。また頭頸部癌の動注化学療法を多く行っているが、症例を選んで、外来動注化学療法という非常にユニークな方法を試行し、非常に良い成績を収めている。これにより、病床の回転を効率よくでき、また仕事をしながらや、日常生活のリズムを保ったまま、癌の根治ができるシステムである。

当科の大きな特徴として、頭頸部癌の集学治療に非常に多くの治療方法を取り入れていることである。様々の国内国外の学会などを通じて、多くの先生との交流があり、遠方から当科を紹介されることもしばしばである。母教室である大阪大学の関連病院からの紹介や、種々の媒体での当科紹介をみて直接お越しになるケースもあります。他院の口腔外科・耳鼻科で治療の中断を余儀なくされたいわゆる頭頸部癌の『がん難民』の救済に、当科でのサルベージ手術・動注化学療法・放射線科の血管内治療による一連の治療が奏功している。

[ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)]当科は大阪大学第2口腔外科、京都大学原子炉実験所(熊取町)共同し、2001年頭頸部悪性腫瘍のホウ素中性子捕捉療法(BNCT)を世界で初めて行い、症例・実績とも世界をリードしてきた。このBNCTは、2006年3月の京大原子炉(KUR)の運転中止を期に当地でのBNCTは一旦中止していたが、2010年5月より再開されます。また京都大学原子炉実験所では、世界で初めて加速器を用いたBNCTが行われる予定で、加速器によるBNCTは、医療施設に隣接した専用施設を併設することができることを意味し、重粒子線なみの普及が可能となり得ます。

《実績》

初診<再初診含まず>1,594名(1,682名) 紹介率 62.8%(63.2%) ()内は平成21年度
手術症例 平成22年4月～平成23年3月

① 外来手術 [症例]

抜歯	埋伏歯抜歯術	685(681)
	単純抜歯	288(262)
外傷	非観血的整復固定術	2(3)
	軟組織外傷縫合術	1(3)
嚢胞	顎骨嚢胞摘出術	10(2)
	軟組織嚢胞摘出術	17(28)
良性腫瘍摘出術		48(26)
生検		37(39)
口腔上顎洞瘻閉鎖術		2(2)
骨隆起形成術		8(6)
歯槽堤形成術		2(4)

インプラント除去術	1(6)
インプラント留置術	7(10)
歯根尖切除術	11(20)
唾石摘出術	3(5)
ガン腫開窓術	3(2)
埋伏歯開窓術	4(3)
歯牙移植術	14(8)
小帯形成術	5(4)
抜釘術	0(4)
軟組織・硬組織搔爬術	1(1)

()内平成21.4～平成22.3 実績

② 入院手術 [症例]

顎骨骨折観血的整復固定術		下顎骨折	5(14)
		上顎骨折	1(1)
		頬骨骨折/眼窩底形成	1(1)
		多発骨折	0(0)
腫瘍	良性腫瘍		31(22)
	悪性腫瘍	下顎歯肉癌	2(5)
		上顎歯肉癌	5(0)
		舌癌	1(6)
		口蓋癌	1(0)
		口底癌	1(1)
		頬粘膜癌	3(3)
		上顎癌	1(1)
		口唇癌	1(0)
		耳下腺癌	1(1)
		全頸部郭清術(のみ)	3(3)
		動注カテーテル留置術 (各種頭頸部癌)	7(3)
		血管内治療(IVR)	4(5)
		副鼻腔	歯性上顎同炎
	術後性上顎嚢胞	2(0)	
形成手術	皮膚・粘膜・再建術	0(1)	
	下顎再建術	2(4)	
	上顎再建術	1(1)	
	下顎枝矢状分割術	3(4)	
	上下顎骨切り術	0(1)	
	舌小帯延長術	0(2)	
	口唇形成術	1(3)	
	口蓋形成術	1(0)	
その他	そのほか	2(0)	
	抜歯	2(2)	
	顎骨隆起切除	2(0)	
	ガン腫開窓・摘出	1(2)	
	頸部腫瘍摘出術	2(2)	
	耳下腺腫瘍摘出術	1(1)	
	唾液腺摘出術	1(0)	
	唾石摘出術	1(0)	
	顎骨骨髓炎(搔爬・腐骨)	6(0)	
	抜釘(骨折・顎再建ほか)	13(14)	
そのほか	3(0)		

()内平成21.4～平成22.3 実績

《業績》

(1) 原著、総説、著書 (2010.4~2011.3)

番号 整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	FGF-2 Stimulates Periodontal Regeneration: Results of a Multi-center Randomized Clinical Trial	M. Kitamura, M. Ohmae, S. Murakami et al	J. of Dental Research	on line		8. Nov, 2010

(2) 学会研究会報告 (2010.4~2011.3)

番号 整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	再発頭頸部悪性腫瘍におけるホウ素中性子捕捉療法の治療成績	加藤逸郎 藤田祐生 大前政利 ほか	第64回口腔科学会学会学術集会	2010.6.24-25
2	再発頭頸部悪性腫瘍におけるホウ素中性子捕捉療法の治療成績	加藤逸郎 藤田祐生 大前政利 ほか	第7回日本中性子捕捉療法学会総会	2010.8.5-6
3	Intra-arterial Infusion of Anticancer Agents and/or Boron-10 Compound is Effective Strategy for Boron Neutron Capture Therapy of Head and Neck Malignancies	Masatoshi Ohmae, Itsuro Kato, Koji Ono	14th International Congress on Neutron Capture Therapy, Buenos Aires, Argentina	2010.10.25-29
4	Boron Neutron Capture Therapy for Recurrent Head and Neck Cancer	Masatoshi Ohmae, Itsuro Kato, Koji Ono	14th International Congress on Neutron Capture Therapy, Buenos Aires, Argentina	2010.10.25-29
5	リザーバーポート皮下設置による外来動注化学療法	大前政利 加藤逸郎 藤田祐生 ほか	第29回日本口腔腫瘍学会総会	2011.1.29
6	再発頭頸部悪性腫瘍に対するホウ素中性子捕捉療法の治療成績	加藤逸郎 藤田祐生 大前政利 ほか	第29回日本口腔腫瘍学会総会	2011.1.29
7	2010年度 BNCT 症例の経過報告	加藤逸郎 ¹ 山本直典 ¹ 藤田祐生 ¹ 大前政利	平成22年度京都大学原子炉実験所専門研究会	2011.2.18-19

(3) 学術講演 (2010.4~2011.3)

番号 整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	頭頸部悪性腫瘍におけるホウ素中性子捕捉療法と今後の展開	加藤逸郎 大前政利 藤田祐生 ほか	国立がん研究センター中央病院	2010.9.3
2	頭頸部悪性腫瘍におけるホウ素中性子捕捉療法と今後の展開	加藤逸郎 大前政利 藤田祐生 ほか	国立がん研究センター中央病院	2010.9.8